

3

It was Mary's favorite day of the year: Christmas Eve.

"Here you go Mary, this is your present. You may open it."

The present she received from her dad had a large head with a handsome face and was dressed in a costume of a soldier.

"This is called the 'Nutcracker'. Pass it over to me."

Her father took the Nutcracker and put a walnut inside his mouth.

"C'mon Mary, now try pulling the lever on his back."



5

Mary pulled the lever, then it made a cracking noise.

“Oh wow! The hard shell of a walnut cracked so easily!”

She really liked this Nutcracker and she sat on a couch cracking walnuts with it for a while.

That night, Mary placed the Nutcracker on the shelf by the bed and went to sleep.

During the night, she woke up to a noise,

“Hm? Is anyone there?”



きょうは マリーの だいすきな、クリスマス・イブです。

「さあ マリー、プレゼントだよ。あけてごらん」

マリーが ちちおやから もらったのは、
りりしい かおをした、あたまの おおきな、
へいたいの かっこうをした にんぎょうでした。

「これはね、『くるみわり にんぎょう』っていうんだよ。
どれ、ちょっと かしてごらん」

ちちおやは くるみわり にんぎょうを てにとり、
にんぎょうの くちの なかに、
くるみを ひとついれました。

「ほら、マリー。この にんぎょうの せなかについている
レバーを ひいてみなさい」



マリーが いわれたとおりに レバーを ひくと、
パキッと おとがしました。

「ほんとうだ！かたい くるみの からが、
かんたんに われちゃった」

マリーは このにんぎょうを とてもきにいり、
しばらく ソファーにすわって、
にんぎょうで くるみを わって あそんでいました。

そのひの よる。マリーは くるみわり にんぎょうを
まくらもとの たなに おいて、ねむりにつきました。

ふと、なにか ものおとを きいて、
マリーは めをさました。

「ん・・・だれか いるの？」

